

第 140 回八大学工学関連研究科長会議 議事録

- 日 時 : 2020 年 9 月 25 日 (金) 14:30~17:15
場 所 : オンライン会議
出席者 : 八大学工学系連合会会員等 72 名 (研究科長・研究院長等、副研究科長・副研究院長等、運営委員、陪席者等) ※別紙名簿参照

議題等

0. メンバー紹介

1. 報告事項

- (1) 今年度の活動経緯と今後について
- (2) 運営委員会活動報告
- (3) トルコ・日本科学技術大学について

2. 協議事項

- (4) 2020 年度博士フォーラムの実施について
- (5) 2020 年度就職活動問題への取り組みについて
- (6) ニューノーマル時代の工学教育について
- (7) 今後の予定について

3. 講演会

- 講演 I 「低温プラズマ科学が拓く未来社会」
名古屋大学・低温プラズマ科学研究センター 堀勝センター長
- 講演 II 「細胞レベルのがん治療を目指した加速器駆動中性子源の開発」
名古屋大学・工学研究科総合エネルギー工学専攻 吉橋幸子准教授
- 講演 III 「With/After コロナ時代の大学教育」
文部科学省高等教育局専門教育課 吉田光成課長

配布資料一覧

- 資料0 第 140 回八大学工学関連研究科長等会議・出席者名簿
- 資料1 2020 年度 活動経緯と今後について
- 資料2 2020 年度第 1 回運営委員会議事録 (案)
- 資料3 トルコ・日本科学技術大学 (文科省・外務省)
- 資料4 2020 年度 博士フォーラムの開催について (東工大)
- 資料5 2020 年度 就活問題への取り組みについて (第 2 分科会)
- 資料6 ニューノーマル時代の新しい工学教育の検討 (第 3 分科会)
- 資料7 八大学工学系連合会の会長校・幹事校について (参考)
- 講演資料: 連合会HP よりダウンロード可

議 事 要 旨

○ 開会の辞

開会に当たって長坂会長・東北大学大学院工学研究科長より挨拶があり、今回はCovid-19 Pandemicの深刻な影響を受けて初めてオンライン会議となった旨説明があった。

○ 幹事校代表挨拶

今年の幹事校である名古屋大学工学研究科を代表して水谷研究科長から挨拶があった。

○ 議長選出

連合会の定款施行細則第4条の第4項に基づいて、幹事校の代表者である名古屋大学の水谷研究科長が議長に選出された。

議 事

0. メンバー紹介

今年は春の本研究科長等会議が中止となったことから、第140回八大学工学関連研究科長等会議出席者名簿に従って会議出席者全員の自己紹介が行われた。

1. 報告事項

(1) 今年度の活動経緯と今後について

長坂会長より資料1に基づいて、本年度初めからの活動の経緯として、法人の会議をメール審議で実施、研究科長等会議を中止、工学部長会議を5月に遅らせてWeb会議で開催、これを受けて第1回運営委員会を開催、文科省への入学定員管理に関する要望書の提出などが報告された。なお、入学定員管理については、現在実施中の設置基準改正に対するパブコメへの意見の提出が依頼された。

(2) 運営委員会活動報告

長坂会長より資料2に基づいて、7月13日に第1回運営委員会を開催し、3つの分科会事業として「博士フォーラム」、「就活問題」、「新たな工学教育」を取り上げることとし、それぞれについて、東工大・藤田先生、阪大・桑畑先生、東北大・橋爪先生を主査をとする分科会推進体制を決定したことが報告された。

(3) トルコ・日本科学技術大学について

長坂会長より資料3に基づいて、先に文科省・外務省から協力依頼が入っている「トルコ・日本科学技術大学」設立構想の概要と八大学としての対応方針に関する説明があり、今後の対応上の留意点について意見交換が行われた。

2. 協議事項

(4) 2020年度博士フォーラムの実施について

幹事校の藤田先生より、今年の博士フォーラムについて、討論主題、日程(12月11日)、形式(オンライン会議)等の企画が説明され、学生アンケートでは八大学の名称を使うこととした。また、12月に向けて各大学への教員・学生の参加要請があった。

(5) 2020 年度就職活動問題への取り組みについて

今年度の就活問題への取り組みについて、長坂運営委員長より全体計画（資料 5）、第 2 分科会の東北大・安藤先生より就活アンケート（資料 5.1～5.4）、九大・中島先生より企業ヒアリング（資料 5.5）、東大・鈴木先生よりインターンシップ（資料 5.6）について説明があった。今回はパンデミックの影響を受けた就活の変化の調査が主たる狙いであることが強調された。また、議長より、配布資料にある就活アンケート、企業ヒアリング、インターンシップなどの詳細な項目についての意見の提出、及びアンケートの回収率向上への協力が要請された。

(6) ニューノーマル時代の工学教育について

第 3 分科会が取り組む「ニューノーマル時代の新しい工学教育」について、運営委員長の長坂先生から資料 6 に基づいて、今年度のコロナ禍での工学教育実態の調査・分析、オンライン利用による留学生入試・教育の充実策の検討が提案された。状況が大きく変容する中で八大学として何ができるかの視点で入試問題も含めて引き続き議論を続けていくこととした。

(7) 今後の予定について

資料 7 を用いて、今後の会長校、常設会議の幹事校、春に中止した会議の会議番号の欠番などを確認した。今後について、会長は来春の社員総会において次期会長に交代すること、東工大が幹事校の来春の常設会議は 2021 年 4 月 23 日（金）に KKR ホテル東京で開催すること、東北大が幹事校の来年秋の常設会議は 2021 年 9 月 17 日（金）にメトロポリタン仙台で開催することがアナウンスされた。

3. 講演会

本年は以下の 3 件の講演と質疑が行われた。

- I. 名古屋大学・低温プラズマ科学研究センター 堀勝センター長より、「低温プラズマ科学が拓く未来社会」と題して、低温プラズマ研究と応用の急速な発展と名大・低温プラズマ科学研究センターの活動に関する講演があった。
- II. 名古屋大学・工学研究科総合エネルギー工学専攻 吉橋幸子准教授より「細胞レベルのがん治療を目指した加速器駆動中性子源の開発」と題して、名古屋大学における癌治療用中性子加速器の開発に関する講演があった。
- III. 文部科学省高等教育局専門教育課 吉田光成課長より、「With/After コロナ時代の大学教育」と題して講演があり、オンライン教育基盤の構築、分野融合施策の推進、遠隔・対面授業の現状と今後、教育の質保証などに関する質疑が行われた。

以上をもって第 140 回八大学工学関連研究科長会議の終了することを水谷議長が宣言し、オンライン会議を終了した。

以上